

平成21年度 決算

平成21年度の一般会計歳入総額は、一昨年の急激な景気後退

が引き続き影響し、前年度に比べて24億1526万円減(6.9%減)の325億4635万円となりました。歳出は堅実な行政運営で抑制を図り、執行率は94.9%、総額は前年度に比べて16億8596万円減(5.2%減)の305億1238万円です。この結果、実質収支額(繰越事業に充てる財源は除く)は19億2797万円のプラスとなりました。

なお、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額(水道事業会計を除く)は、46億2億1886万円(前年度比7.6%減)、歳出総額43億7億4730万円(前年度比6.0%減)でした。

歳入のうち市税収入は、法人市

市税の大幅減も、 堅実な行政運営で、 19億円余の「黒字」。

年度に比べて71億3574万円減(35.6%減)の129億394万円となりました。こうした急激な歳入減に対応するため、財政調整基金を20億円取り崩すとともに、56億2770万円の市債を発行し、財源に充当しました。

このように、平成21年度も厳しい財政状況であったため、ここ数年高い水準で推移していた投資的経費は大幅に減少しましたが、安心・安全対策や子育て支援、地域経済の活性化などの重点事業については、着実に実施しました。

※1【財政調整基金】収入を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えたりするための「貯金」

※2【市債】市が施設や道路などを整備するために、国や金融機関から借り入れるお金。返済義務のある「借金」

一般会計の歳入歳出決算

実施した主な新規・重点事業 【市民協働の推進】市民協働まちづくり事業補助／福江市民館整備 【子育て支援】子ども医療費無料 【学習環境の充実】学校介助員派遣／泉中学校舎耐震化 【地域医療の充実】救急医療施設運営費補助 【防災対策の推進】防災ラジオ有償配布／台風18号災害復旧 【産業の振興】農業新技術導入事業補助／プレミアム付商品券発行事業補助／企業立地奨励金 【都市環境の整備】駅南公共駐車場整備／緑ヶ丘住宅整備 【エコ活動の推進】全国菜の花サミット開催

